

教科目名 防災工学 (Disaster Prevention Engineering)

学科名・学年 : 都市・環境工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 1 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 佐野博昭

授業の概要			
<p>本科目では、これまでの主な自然災害および我が国の立地条件を学習し、地震、津波などの仕組みを学ぶ。また、災害に関わる情報（公的機関による予警報など）やライフライン（水道、電力、ガスなど）の復旧・対策を学ぶ。さらに、土砂災害の現状を理解する。最終的には、防災全般について基礎的な内容を理解する。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標 (d1⑤) (g)	
<p>(1) 防災全般について理解し、どのような防災対策をとるべきか、また、災害時にとるべき避難行動や災害が私達の社会に及ぼす影響について理解できる。(定期試験)</p> <p>(2) 自主的、継続的に学習できる。(課題)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	<防災リテラシー> 1. これまでの主な自然災害のまとめ および我が国の立地条件	<p>○これまでの主な自然災害および我が国の立地条件が理解できる。</p> <p>○崖崩れなどの土砂災害の原因と対策が理解できる。</p> <p>○地すべり対策などの現状が理解できる。</p> <p>○地震、津波などの仕組みが理解できる。</p> <p>○災害に関わる情報（公的機関による予警報など）が理解できる。</p>	【理解の度合い】
2	2. 土砂災害①		
3	3. 土砂災害②		
4	4. 土砂災害③		
5	5. 災害発生の仕組み		
6	6. 災害に関わる情報		
7	7. 外部講師による講演①(講師の都合により変更の可能性あり)		
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9	後期中間試験の解答と解説	<p>○わからなかった部分を理解する。</p> <p>○ライフライン（水道、電力、ガスなど）の復旧・対策が理解できる。</p> <p>○地域活動の重要性が理解できる。</p> <p>○カードゲームにより災害対応が理解できる。</p> <p>○災害の実例について調査・発表し、被害特性や防災対策などが理解できる。</p>	【理解の度合い】
10	8. 災害とライフライン		
11	9. 地域活動		
12	10. クロスロードゲーム		
13	11. 外部講師による講演②(講師の都合により変更の可能性あり)		
14	12. 災害の実例調査と発表①		
15	13. 災害の実例調査と発表②		
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説	○わからなかった部分を理解する。	
履修上の注意	必要に応じて課題を与える。		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書	岡田恒男・土岐憲三編著、「地震防災のはなしー都市直下地震に備えるー」, 朝倉書店.		
自学上の注意	常に災害・防災関係の情報には関心を払い情報を集めるように心がける。		
関連科目	コンクリート構造学Ⅱ, 地盤工学, 都市計画		
総合評価	<p>達成目標の(1)と(2)について、定期試験と課題で評価する。</p> <p>総合評価=0.7×(2回の定期試験の平均)+0.3×(課題・意見発表の平均)</p> <p>総合評価が60点以上を合格とする。原則として、再試験は実施しない。</p>		【総合評価】 点